

◆ あとがき ◆

2月には節分があり、後醍醐天皇の息子、護良親王と関係が深い鎌倉宮では毎年恒例の豆まきが行われ、壇上から私も豆をまいた。鎌倉には源頼朝や北条家、その家臣らの菩提寺が多くあることは皆さんもご存知であろう。多くの観光客は鎌倉八幡宮へのお参りはされるが、ここへ足を伸ばす人は少ない。夢窓国師で有名な瑞泉寺や竹林で有名な報国寺にも足を伸ばされることをお勧めしたい。

今回の特集はADPKDである。当院腎臓内科にはADPKDの専門外来があり、200名ほどの方々が診療登録されている。普段からこの領域の治療はCKD疾患の中では最も進歩が遅れていると思っている。何より大きくなった嚢胞のために生活の質が侵される。これは大変辛いと思う。加えて、診断されなくてもよかったのに診断されることもあり、遺伝診療外来との連携によって本人ならびに家族のケアも大切となる。合併症では、嚢胞内感染や動脈瘤なども気をつけなくてはならない。尿路感染や嚢胞内感染は難渋することになり、言うまでもなく泌尿器科医との連携が重要となる。当院ではADPKD患者の腎移植も行っているが、肝臓もやられると肝腎同時移植が必要となるが、これができないのが辛い。成因に関してPKD1やPKD2以外の遺伝子もわかってきている。当院での検討では、幸いこの疾患の嚢胞増大に大きく関わる遺伝子がわかった。嚢胞増大抑制のための治療法の進歩が大きく期待される。腸腎関連でも、当院ではCKDとの関連として、シンバイオティクス研究がなされているなど興味は尽きない。

年度が終わろうとしている。この一年のさまざまな分野における反省を元に、新人を迎える4月に向けての準備に追われる毎日である。

小林 修三

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5

NK本郷ビル5階 ☎03-3814-8541

メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9

アド 第1長谷川ビル2階 ☎03-5776-1853 (代)

文京 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6

メディカル 本郷大原ビル6階 ☎03-3817-8036 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第100巻第4号(4月号)

特集 腎尿路疾患に関連する感染症

総論

DPC データベースからみた尿路感染症による

入院治療の実態……………酒匂赤人

JAID/JSC 感染症治療ガイドラン 2023 からみる

腎尿路感染症……………東郷容和・他

保存期CKDにおける感染症……………安田日出夫

透析患者における感染症……………吉藤 歩

腎移植患者における感染症……………中川由紀

泌尿器疾患に伴う敗血症の病態と治療……………京 道人・他

透析室における感染対策……………森兼啓太

各論

尿路結石に伴う腎尿路感染症(腎盂腎炎・腎膿瘍)

……………高沢亮治

下部尿路閉塞・排尿障害に伴う尿路感染症

(膀胱炎・前立腺炎)……………亀井 潤

女性の反復性膀胱炎……………高橋 聡

糖尿病患者における腎尿路感染症……………堀野哲也

フルニエ壊疽……………井上幸治

腎尿路感染と抗菌薬耐性……………長谷川真也・他

カテーテル関連尿路感染症(CAUTI)……………堀田 裕

多発性嚢胞腎における嚢胞感染……………西尾妙織

肝炎ウイルス感染症と腎尿路疾患……………瀬川由佳・他

HIV 感染症と腎尿路疾患—HIV 感染症が引き起こす

腎尿路系への影響とその管理……………太田哲人

新型コロナウイルス感染症と腎尿路疾患……………張本健仁・他

小児の尿路感染症……………内田博之・他

妊婦の尿路感染症……………宮崎博章

名誉主幹／秋澤忠男	飯野靖彦		
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	川村哲也
木村健二郎	山田哲夫	酒井聡一	坂井建雄
佐中 孜	塩之入洋	高市憲明	堀江重郎
細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕	山田 明
竜崎崇和			
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安西尚彦	安藤亮一	伊藤秀一
河原克雅	菅野義彦	清水 章	高橋公太
高橋 悟	坪井伸夫	長田道夫	服部元史
平和伸仁	星野純一	本田浩一	横尾 隆

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

第100巻第3号

2026年3月25日発行

定価3,190円(本体2,900円+税10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

E-mail: jin@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2026 年年間予約購読料

①2026年1月号～2026年12月号+増刊号:

定価52,800円(本体48,000円+税10%)

②2026年4月号～2027年3月号+増刊号:

定価52,800円(本体48,000円+税10%)

※前金予約購入に限り送料無料。